

# 神杉自治連だより

## 市長とまちづくりトーク



11月25日(木)市主催のまちづくりトークが神杉コミュニティセンターで開催されました。市長はじめ、市の幹部と地域の皆さんとの対話により、持続可能なまちづくりを目的としています。

昨年は新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止になりましたが、今回は参加者数、開催時間を縮小して、①地域の防災について ②持続可能なまちづくりについてのテーマに絞り、一時間の予定で行われました。三次市からは、福岡市長、堂本副市長、川村危機管理監、中原地域振興部長、笹岡秘書広報課長他3名。地域を代表して、有田会長新祖副会長、山口副会長、広川集落支援委員、有田事務局長、梶田事務局職員が参加し、意見交換を行いました。

防災に関しては、広島県が推奨しているマイタイムラインの利用や、防災訓練に積極的に参加して、防災意識を高め安全を確保してほしいとの要請がありました。地域としては、防災訓練の実施状況や、防災士会の設立等防災意識の向上に努めている現状や、実際に発生している神杉駅周辺の内水氾濫や、ハザードマップで示されている土砂

災害危険個所について、特に生活道に面している所は、看板等で見える化を、また内水氾濫を最小限にとどめるよう川底の浚渫や排水設備の設置等ハード面のお願いをしました。

国交省、農水省ともタイアップして特に豪雨の対応に力を入れるとの話がありました。



持続可能なまちづくりの対応として、まず、市の広報力を向上して欲しいと要望しました。三次市まち・ゆめ基本条例」が徹底していないことや、定住化につながる空き家の片付け補助制度が本年度から廃止となった経緯や検証の広報もないこと等、事例をあげて要望しました。

また、農振法にかかっている遊休地の対応や、自治会組織に加入されていない移住者の方への対応、安全安心に係る危険個所の対応窓口の適正化等を依頼しました。

最後に令和4年11月20日(日)に、神杉駅開設一〇〇周年祝賀記念行事を行うことを報告し、市への協力をお願いしました。

今回の問題点については別途回答することとで、予定していた時間をオーバーしましたが、活発且つ和やかに意見交換をして終了しました。

神杉地区自治会連合会  
TEL 66-1323  
2021/12/10発行  
11月末(前月比)  
人口 1,501(-3)  
世帯 597(-2)  
ホームページ  
kamisugi@m-city.jp



## 防災体験講習

三次市では、今年度から小学校5年生を対象に体験活動充実事業を展開されています。

事業目的として、①自ら命を守る大切さを学ぶ②ふるさとみよしの良さを実感する ③自らの自立心や主体性人間関係の形成能力を伸長する。

これらのことを習得する機会として、小学校からの要請で防災士による防災活動体験を行いました。

11月8日(月)、午前中の時間帯で、朝9時から教室で約1時間の座学。その後体育館で心肺蘇生法、ロープ結び、段ボールベッドとエアーマット等の組み立て、更には、ビニール袋で簡単レイアウトの作成を行いました。子どもたちの感想は様々でしたが、辛抱強く、興味を持って、楽しく体験してくれました。子どもたちの今後の成長の一助になればと思います。



講師(地域)・・・久保 誠・山崎加代子  
有田 新治 (以上防災士)

協力・・・三次市危機管理課 川村管理監・荒瀬係長  
三次消防署 宮野士長・長戸・天野

教育委員会・・・大崎 (敬称略)

## 安全・安心の改善要望活動

11月29日（月）、公衆衛生・生活安全部会（平岡末夫部長）では、神杉地区の危険箇所をまとめ、三次市土木課と広島県北部建設事務所に伺い改善要望書を提出しました。

三次市土木課では細美課長・藤川係長が対応してくださり、神杉地区からは平岡部長・広川集落支援員・有田事務局長3名が、23項目について要望しました。

また、北部建設事務所では、維持課の八木課長の対応のもと、12区の藤田自治会長にも加わっていただき、5項目について現状説明し、状況を理解していただきました。

現状は災害復旧を優先しているとのことでしたが、現地の確認を早めに行つて、スピード感のある対応をお願いしました。

## 歩こう会運動のしごい

11月21日（日）、午前8時30分。神杉自治会館前に約40名の老若男女が集まり、歩いて二本松子ども広場へ向かいました。ゴミを拾いながら約2・5キロの山道を歩き、目的地へ到着。二本松牧場のジャージー牛が出迎えてくれました。他の2コースからの参加者も合わせると、なんと120名

もの方々が集合し、とてもにぎやかな歩こう会運動のつどいになりました。

宗安溪介スポーツ振興部長の進行のもと、輪投げやゲートボールを楽しむ、ジャージー牛へのエサやり体験をした後、アツアツで甘くて美味しい焼き芋を頬張りました。予定していた参加人数より多くの方が参加してくださり、芋の数が足りず、残念ながらお替りはできませんでしたが、皆さんのやさしい笑顔に救われました。

続いて、山中晴芳青少年育成神杉町民会議副会長の進行でビンゴゲームをしました。景品を前に何にしよるかと迷い続け、「お母さんのお土産にする。」と言って、台所用品を選ぶ優しい子どももいました。

コロナ禍にあつて様々なイベントが中止になる中、開催した今回の歩こう会で感じたことは、やはりみんな何かしらイベントを求めているんだなということでした。これからも感染対策をしながら、いろんなイベントが再開できるよう進めて参ります。

今回お手伝してくださりました各方面の関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。



## 一斉清掃・花いっぱい運動

12月5日（日）、手がかじかむほどの冷え込みの朝、公衆衛生推進協議会の各地区の推進員さんが自治会館へ集まり、神杉地区の皆さんが気持ちよく新年を迎えられるよう、廻神山手交差点から陸橋までの約2・2キロの農免道の両サイドを2班に分かれてゴミや空き缶等を拾って歩きました。

タバコの吸い殻が特に多く、空気が乾燥するこの時期は火事につながることもあるので、軽い気持ちでポイ捨てをしないようにしてもらいたいと思いました。

神杉自治会館の周辺と廻神山手交差点の記念碑前には、毎年夏前にはマリーゴールド、年末にはパンジーの花苗を植え、推進員さんや老人クラブさん、ボランティアの皆さん等の協力を得て、水やり管理をしていただき、神杉地区内を明るく元気にしています。今回も各自自治会へも花苗を持ち帰ってもらい、集会所等へ移植していただきました。

今年もゴミを拾い、パンジーの花を植え、新年を迎える準備が進んでいます。

来年も「きれいなまち、安心な環境づくり」の推進に、ますますご協力をお願いします。



# 公衆衛生活動勉強会



11月18日(木)、神杉地区公衆衛生推進協議会 平岡末夫会長は、小学校4年生を対象に、公衆衛生活動の勉強会を行いました。

4年生は毎年、水辺の教室で芋面川の水生生物を調べ、川の水質調査を行っています。今年もコロナ禍にあるため中止となり、今回の勉強会になりました。

勉強会では、神杉地区公衆衛生推進協議会が行っている様々な活動を説明し、環境整備の重要性や維持管理の大切さ、特に不法投棄は犯罪であり、高額な罰金もあることも説明しました。子どもたちからも、いろんな質問を受けましたが、疑問に思ったことや、要望があれば、各方面の関係機関・団体で協議し、みんなで話し合っ解決策を考えて行くことを伝えました。

きれいな環境は、住民の健康と安心につながることで、更には防犯にもつながることを子ども達も認識して、今後の成長に繋げて欲しいものです。



## 幹ちゃんの神杉地区集落支援員情報

### 「空き家にさせない活用について」

空き家を面倒なことと思わないで

神杉地区においても、空き家が多く見受けられるようになってきました。先般、空き家の活用方法についての情報があつたのでご紹介します。空き家は確実に増加しているのが現状です。そのため、空き家が増えていくことを前提に増やさない活用方法を考える必要があると思います。



#### ①相続して自分が住む

相続の手続きをして、空き家にしないために自分や家族が居住する

#### ②家族・親族が居住する

とりあえず、定期的な維持管理を行いながら、Uターン等、家族・親族に帰ってもらい居住してもらう

#### ③そのまま、またはリフォームして貸す

現状のまま・片付けをして・最小限の修理をして賃貸住宅とする

#### ④更地にする

古くなった住居を解体し、宅地、駐車場等として販売または賃貸に出す

#### ⑤建て替えて貸す

古くなった住居を解体し、住宅を建てて販売または賃貸住宅とする

(※いずれも、それなりの費用がかかります)

以上のような選択肢を挙げてみましたが、どれも必ず相続が発生します。放置していると今は負担が少ないと思われても、家屋は古くなる一方で、なんら活用していることになっていません。

是非活用について、住まいが空き家になった場合にはどうするのか、早いうちから家族で話し合いをしておくことが重要です。

空き家が増えると神杉地区の人口が減ります。

そのためにも、今、考えてみてください。



# 愛の灯

神杉地区社会福祉協議会へ

令和三年十一月一日から同月末日までに、  
次の方々からご寄付が寄せられました。



《香典返し》

《見舞い返し》

紙面をおかりしまして衷心より厚く  
お礼申し上げます。

## 山脈句会（十一月）

家生りの柚子湯の香りほのかなり

秋の夜の夫婦で交わす酒一合

教えられスマホに挑む冬ぬくし

独り居の二階の壁に蔦もみじ

加藤 茂夫

中藤 博文

広川 テル子

田原 洋子



## 講座紹介

### 書道講座

日時：毎月第1・3水曜日 13:30～

会費：月額1,500円

講師：桑田誠子



手書き文字は、毎日の生活に欠かせないものです。仕事や学校、冠婚葬祭など手書きをする場面はたくさんあります。手書き文字の美しさはその人の印象や評価につながります。やっぱりパソコンより手書き文字の方が気持ちが伝わりますね。

最近、書道を始める人が増えてきています。うれしいなあ～

## 12月講座・行事予定

- 12日（日）防災訓練
- 14日（火）舞踊 三味線  
ビジョン策定委員会
- 15日（水）書道 絵手紙
- 16日（木）俳句
- 17日（金）パッチワーク
- 18日（土）ブレイクダンス
- 19日（日）グラウンドゴルフ月例会
- 20日（月）神杉わくわく講座  
社交ダンス
- 21日（火）舞踊 三味線 大正琴
- 23日（木）館内清掃 三役会議
- 24日（金）生花
- 25日（土）ブレイクダンス



## 年末年始のお休みのお知らせ

今年も神杉自治会館をご利用いただきありがとうございました。

12月29日（水）から1月3日（月）まで  
年末年始の為、休館とさせていただきます。

## 編集後記

紅葉も終わり山々も冬景色に向かっている今日この頃、日本全国の積雪の便りが聞こえる季節となりました。

今年の冬は、ラニーニャ現象（太平洋東部の熱帯域の海面水温が低くなる現象）の影響で、九州など西日本から厳しい寒さとなる予報が出ています。

このため、ここ三次地方も低温、多雪が予想されています。

コロナ、寒さ、雪・・・

自然の力は計り知れないものがあります。

皆さん、それらを踏まえてこの冬を心身共に元気よく乗り越えましょう。

牛から虎へ・・・よいお年を。

## 公衆衛生推進協議会からのお願いです 犬の糞の後始末を必ずしましょう！

最近、犬の散歩をされる方で、何も持ち歩かず犬の糞を放置したまま立ち去られる方をよく見かけます。しかも、犬が糞をしている最中も、自分はスマートフォンに夢中という方もおられ、苦情が寄せられています。音声告知放送でも注意喚起をされていますが、他人ごとではなく、自分の行動をもう一度振り返ってみてください。

犬の糞は、廃棄物処理法が定義する廃棄物です。

同法は廃棄物をみだりに捨てることを禁止し、

**違反者には5年以下の懲役、  
または1,000万円以下の罰金が  
科せられます。**

散歩のマナーは守りましょう！



**犬のフンお断り**  
フンは必ず持ち帰りましょう  
マナーを守ってきれいなまちを